

伝わることで結果を成果にする、人を動かすプレゼンテーション

## 研究者・技術者のための論理的プレゼンテーションのノウハウ (スライド作成&本番実践編：演習有り)

日時 HP、案内メールをご覧ください 会場：WEB 配信方式

受講料 税抜き 49800 円 (税込み 54780 円) テキスト付 & 主催講座特典

講師 ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士 (工学) 奥村 治樹

| 受講対象  | 得られる知識、スキル  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 成果を伝えられない、認められない人</li><li>・ 結果報告、技術報告が苦手、人前で話し慣れていない人</li><li>・ 新入社員から中堅、プレゼンを指導する管理層</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 伝わり、動かす説得力、承認力、ストーリー力</li><li>・ 結果を成果にするプレゼンテーション力</li><li>・ 聞き手を惹きつける伝え方</li></ul> |

組織の内外を問わず日常的に様々なプレゼンテーションが求められ、社内会議や報告会などはもちろん、上司への日々の軽微な報告や、社外では学会や技術紹介、顧客への説明などの様々な場面でプレゼンテーション力が要求されます。多くの解説書や研修、セミナー等が開催されていますが、フォントや色使いといった小手先のテクニックに頼るものも少なくありません。確かに、そういったことも必要ですが、**最重要ポイントは分かりやすいか、正しく伝わるか**ということです。そして、スライドだけでなく、話し方、質疑対応でもプレゼンテーションの成否は左右されます。どれほど良い内容でも、表現、伝え方でその価値はゼロになります。

本講座では、**技術プレゼンテーションの特異性をふまえながら**、単なる情報発信ではなく、**理解させ、納得させて人を動かすことができる伝えるプレゼンテーションのテクニックとノウハウ**を解説します。なお、本編はスライド作成、本番実践編として、主に小手先ではないスライドの作成ノウハウ、そして、**本番の話し方や緊張の和らげ方、質疑対応等について、様々な演習を交えながら解説**する内容となっております。(プレゼンテーションの内容、構成、ストーリー構成については、「内容・構成編」をご受講ください。)

- 【イントロダクション (定義)】  
プレゼンテーションの本質とは何か、そして、プレゼンテーションを構成する要素について整理します。
- 【伝えるスライド】  
どうすれば一目見ただけで理解してもらえるスライドになるのか、そのために考え、結果をどう表現すれば良いかについて、スライドデザインはもちろん、グラフに代表される情報表現テクニックなどについて事例を交えながら解説します。
- 【不安と緊張】  
プレゼンテーションで誰もが感じる不安と緊張の源泉は何なのか、そして、それらにどう対処すれば良いかについて事例を交えて解説します。
- 【プレゼンに慣れるためには】  
不安や緊張和らげることはもちろん、聞きやすさ、分かりやすさにも直結する「慣れ」を実現するためにどうすれば良いかについて解説します。
- 【コミュニケーション】  
プレゼンターが一方的に話すのではなく、如何にして聴講者に入り込んでもらうか、参加してもらうかについて、コミュニケーションという視点で解説します。
- 【パフォーマンス】  
惹きつけ、伝えるプレゼンテーションとするために、どのように本番で話すというパフォーマンスを行わなければならないかについて具体例を交えながら解説します。
- 【質疑対応】  
避けては通れない、誰もが憂鬱と感じる質疑対応の基本から応用的ニックを事例を交えながら解説します。
- 【まとめと質疑応答】

詳細は、HP をご覧ください

お申し込み <https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html> または HP お問い合わせより

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>

e-mail : [haru777@star.email.ne.jp](mailto:haru777@star.email.ne.jp)